



シリーズ

武雄の治水

vol.11

～水と共に生きるまちへ～

今回のテーマは

共助の取り組み

大規模な災害が発生したときには、公助が十分に行き届かないことがあり、近年は特に「共助」の重要性が高まっています。今回は、共助の取り組みをご紹介します。

防災対策の3要素である「自助・共助・公助」の取り組みが連携し一体となることで、災害による被害を最小限にすることができ、早期の復旧・復興につながります。

自助

自分（家族）の命を自分（家族）で守ること



- 1 自宅の危険度・安全度をチェックする
- 2 避難所や持ち出し品の確認
- 3 停電・断水に備える

共助

地域の人たちが互いに助け合って地域の安全を守ること



- 1 要援護者の避難を助ける
- 2 自宅が安全なら近隣の人に提供
- 3 余裕があれば避難生活者を支援

公助

行政機関（警察・消防・市役所等）が公的に支援すること



- 1 防災情報などの発信・伝達
- 2 避難所を開設し安全を確保
- 3 被災者の生活再建を支援

自主防災組織の取り組み ～共助による地域防災力の向上～

地域で安全な避難先を！ 橘町小野原区

自治公民館が浸水した小野原区では、自主防災組織が区内のお寺に相談し、本堂を地域の避難所として利用できることになりました。



6月には避難訓練を実施し、お寺への避難経路の安全点検等も行われました。また、お寺に備蓄倉庫も整備されています。

身軽に避難！ 北方町久津具区

久津具自主防災組織では、避難時に持ち出すものを、避難先である自治公民館に前もって置いておく取り組みが行われています。避難に時間がかかる高齢者などが、身軽に避難できるようにと、地区の民生委員より発案された取り組みです。



自主防災組織では、地域の実情にあわせ様々なアイデアを実践されています！
市は、地域避難所への非常食・飲料水の事前配備など、共助の取り組みを支援しています！

NEWS

11月29日（火）

第5回六角川水系流域治水協議会が行われました

市は、六角川の特定期都市河川指定を希望し、今後、国土交通省において六角川上流部での指定に向けた事務手続きが進められることになりました。今後の動きなどは、たけおポータル等でも随時お知らせしていきます。

特定都市河川とは



◀ 広報武雄 11月号

治水とまちづくりを考える シンポジウムin 武雄

日時：1月29日（日）
10:00～12:30

場所：武雄市文化会館
小ホール

入場料：無料
※申込不要



詳しくは 企画部 治水対策課 ☎0954-27-7097

シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶

